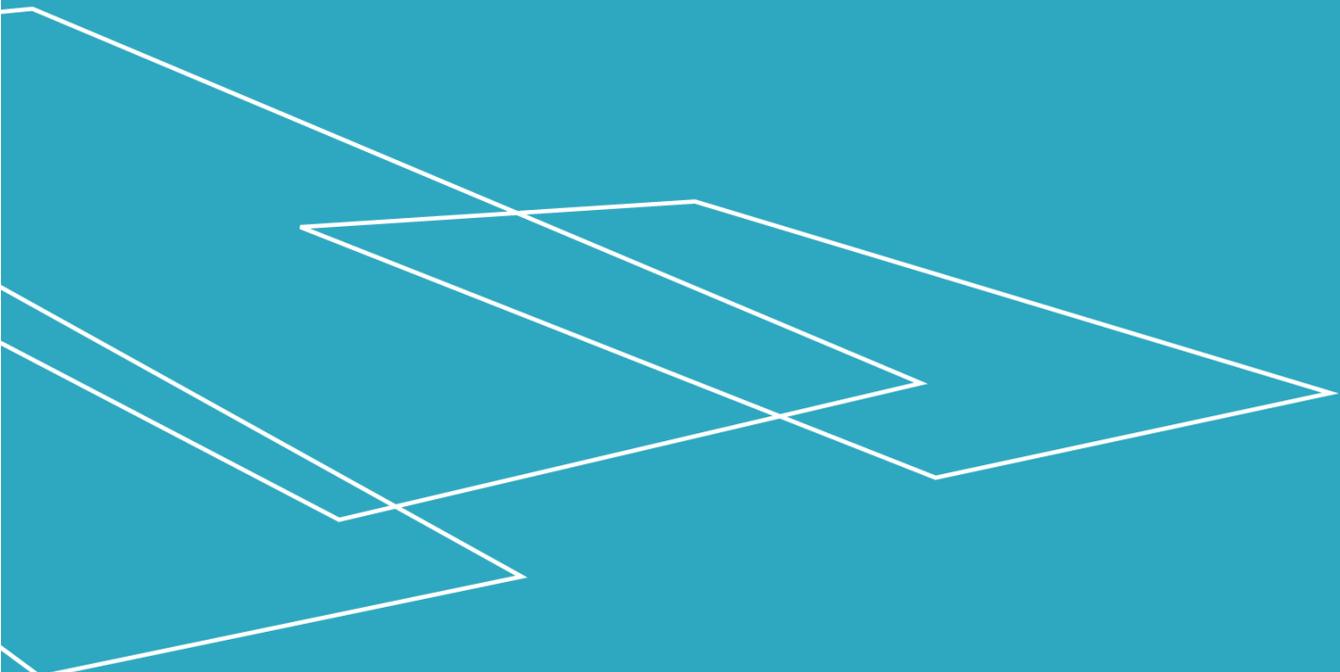




ユーザーマニュアル

FlexStep V2

ユーザーマニュアル - FLEXSTEP V2 - JP 08.04 版





内容

1. 序文.....	4
2. EU 適合宣言.....	5
3. 工場出荷時の受入検査 (FAT)	6
4. 使用条件.....	7
5. 技術仕様.....	8
6. 安全上の注意.....	11
6.1 設置、取り扱い、修理.....	11
6.2 予期しないリフトの動き.....	11
6.3 運転条件.....	11
6.4 人身事故を避けるために.....	11
6.5 リフトの過負荷.....	11
6.6 人体に関する安全性.....	12
6.7 挟み込み防止装置.....	12
6.7.1 赤外線による挟み込み防止機能.....	13
6.8 安全バリア.....	13
6.8.1 スロープによる出口保護.....	13
6.8.2 自動プラットホームバリア (オプション)	14
6.8.3 垂直バリア (オプション)	15
6.8.4 自動ドア (オプション)	15
6.9 自由に入出りできるリフト (特定の国のみ)	15
6.10 故障/破損.....	16
6.10.1 緊急時に垂直バリアを開ける.....	16
6.10.2 緊急時のドアロック解除.....	17
6.10.3 緊急時のプラットホームバリアのロック解除.....	18
6.10.4 非常用照明/停電.....	18
6.10.5 電氣的または機械的エラー/欠陥.....	18
6.10.6 故障時の緊急避難.....	18
7. 機能説明.....	19
8. 設置.....	19
9. 使用開始方法.....	19
10. 操作方法.....	20
10.1 日常使用.....	20
10.2 上段からの FlexStep 操作.....	21
10.3 下段からの FlexStep 操作.....	22





10.4	プラットフォーム上での FlexStep 操作.....	23
10.5	階段への復帰と自動復帰.....	23
10.6	緊急停止.....	24
10.7	オン/オフスイッチ.....	24
10.8	音響アラーム.....	25
10.9	アラームと緊急コール.....	26
11.	操作方法.....	27
11.1	バッテリーバックアップ.....	27
11.2	緊急停止/停電後の校正.....	27
12.	メンテナンス.....	28
12.1	コールステーション/リモコンの電池交換.....	28
13.	送信機と受信機のペアリング.....	30
13.1	ワイヤレスコールステーション/操作コラム 2.4 GHz.....	30
13.2	リモコン 2.4 GHz.....	32
14.	設置と引き渡し.....	34
15.	点検、制御、サービスチェック.....	35
15.1	法定点検と検査.....	35
15.2	定期点検.....	35
15.3	整備点検時に使用するサービスレポート.....	36
15.4	整備記録簿.....	37
16.	オンライン整備記録（一部の国のみ）.....	38
17.	スペアパーツとアクセサリ.....	39
18.	取り外し.....	40
19.	廃棄について.....	40
19.1	Flexstep の材質仕様.....	40
20.	苦情.....	40

2022 年 6 月



1. 序文

このたびは、**FlexStep V2** 車椅子リフトをお買い上げいただきありがとうございます。
この製品は、一般的な階段と洗練された車椅子リフトの両方の機能を備えた、美的で革新的な **2 イン 1** ソリューションであり、ご家庭やオフィスなどにご利用いただけます。

本製品は、**FlexStep V2** 専用のユーザーマニュアルです。以下では、特に断りのない限り、**FlexStep V2** に対して **FlexStep** という用語を使用します。



リフトをご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください

設定と設置は、適切な設置を保証するために、**Liftup** 社のトレーニングを受けたサービス技術者が行う必要があります。不適切な設置は意図しない危険を招くことがあります。

サービスおよびメンテナンスは、サービス間隔に関する **Liftup** のガイドラインおよび適用される法令に従って実施する必要があります。

FlexStep は、通常の階段と車椅子用リフトをエレガントに組み合わせたもので、車椅子の方や歩行困難な方が簡単に **2** つの階を行き来できるようになっています。

リフトの操作は、壁やリフト上に設置された操作パネル、リフトの独立した操作コラム、またはオプションのリモコンで簡単に行うことができます。

このユーザーマニュアルでは、「**FlexStep V2**」の車椅子用リフトとしての機能を「リフト」と表記しています。

以下において、「認定サービス技術者」とは、**Liftup** の製品及びサービストレーニングを受けたサービス技術者を意味します。



2. EU 適合宣言

メーカー： Liftup A/S
 住所： Hagensvej 21, DK-9530 Støvring
 電話： +45 9686 3020



ここに次の事を宣言します：

装置： **FlexStepV2**
 車椅子使用者と運動機能障害者のためのコンビネーション階段昇降リフト

年： 2019

本装置は以下の CE ラベリング指令の必須要件に適合しています：

機械指令： 2006/42/EF
 電磁適合性指令（EMC）： 2014/30/EU
 有害物質使用制限指令（RoHS）： 2011/65/EU
 無線機器指令（RED）： 2014/53/EU

本機は以下の規格の関連要求事項に適合しています：

ISO 9386-1：2000 機動性が損なわれた人のための動力式リフティングプラットフォーム
 DS/EN60204：機器の電気機器
 DS/EN 13849-1 および 2：制御システムの安全関連部品

マネージングディレクター/CEO

役職名

Søren Elisiussen

名前

Liftup A/S, Hagensvej 21, DK-9530 Støvring, Denmark

所在地

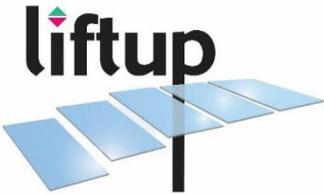
2020 年 2 月 10 日

日付

署名



3. 工場出荷時の受入検査 (FAT)




FACTORY ACCEPTANCE TEST

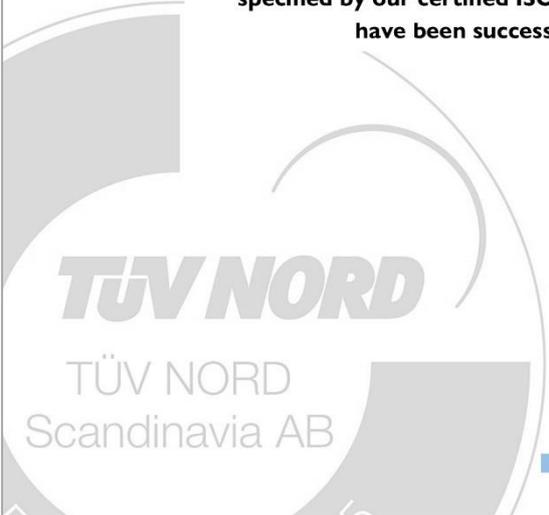
Certificate

is hereby issued to FlexStep V2 with serial no.

(insert serial number / copy of CE certification mark here)

The validity of the CE certificate is subject to correctly performed installation, cf. the manufacturer's instructions.

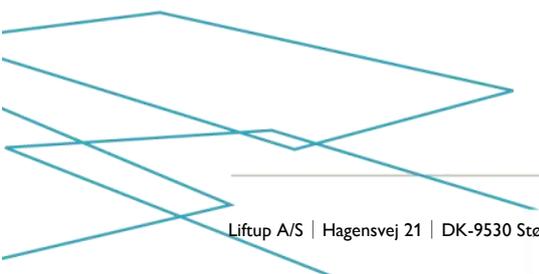
To certify that all safety tests, performance tests and other tests specified by our certified ISO 9001:2015 Quality Management System have been successfully passed and documented.



Issue date

Test responsible

Liftup A/S | Hagensvej 21 | 9530 Støvring | Denmark
 T: +45 96 86 30 20 | M: mail@liftup.dk
 www.liftup.dk | CVR: DK-1015 3964





4. 使用条件

FlexStep は、車いす使用者または歩行困難な方専用のリフトです。最大荷重は 400 kg であり、プラットフォーム上に均等に荷重分散されている必要があります（最大定員 2 名）。



リフトをご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください



重要！このプラットフォームは物品の運搬に使用しないでください。物品を載せたパレットやその他の重量物を乗せないでください。



重要！FlexStep が階段に変形する際、FlexStep の上に人が乗ってはいけません。



重要！リフトの所有者は、本書のメンテナンスガイド（セクション 12）に従って、リフトのメンテナンスを行うことが義務付けられています。



電池や電気電子機器を、分別されていない家庭ゴミと一緒に捨てないでください。廃棄の際は、地域の規制や条例に従ってください。



Max 400 kg
Max 880 lbs

最大荷重は 400 kg であり、プラットフォーム上に均等に荷重分散されている必要があります（最大定員 2 名）。

所有者は、法定検査、点検、整備検査が正しい間隔で実施されていること（セクション 15 を参照）、および必要な安全装置が利用可能であることを確認する義務があります。



5. 技術仕様



ポジション 下段*



階段*



ポジション 上段*

* Flexstep リフトは「Raise-to-fold」スロープ（長さのあるスロープ）と自動ガード付きで示されています。



Flexstep リフト姉妹品の全ての寸法図は、リフトアップ製品
コンフィギュレーターで設定できます：
<https://config.liftup.dk/>

仕様：	
電源*：	100 - 240V / 50 Hz (1.1A) 最大：90 w、スタンバイ時：6w 未満
昇降能力：	400 kg
リフトアップの高さ：	240 - 1250 mm。
プラットフォームのサイズ：	
内寸：	幅 700/800/900/1000 mm - 長さ 900 mm - 1800 mm
外寸：	幅 930 - 1230mm、長さ 1095 - 2010mm
重量：	125 - 205kg
騒音レベル：	70 dB 未満 ^{1) 2)}
	1) 騒音レベルは平均値であり、70 dB を超える音が短時間発生する場合があります。
	2) 「Raise-To-Fold」 (RTF) がオプションのスロープ選択と連動して作動している場合、騒音レベルは次の値に指定されます：80 dB 未満
水と埃：	50 V 以上：IP67 (電源) / 50V 未満：IP23/10V 未満：IPxx
速度/温度：	$\frac{^{\circ}\text{C}}{\text{mm/秒}}$
	+40 °C - +5 °C 60 mm 未満
	+5 °C - -10 °C 20 mm
	-10 °C - -20 °C 10 mm
	-20 °C - -25 °C 10 mm
最大 200 kg	
承認：	機械指令 2006/42/EC
動作サイクル：	2 分/5 分
バッテリー容量：	30 サイクル 25 °C. 満充電 = 5 時間
放電したバッテリー：	10 分充電で 1 回分





すべての無線部品は、以下の規格と基準に準拠しています：

- EU 2014/53/EU、無線機器指令 (RED)
- FCC (米国) CFR 47 パート 15
- DS/EN 62479 : 2010 低消費電力の電子・電気機器が、電磁界 (10 MHz-300 GHz) への人間の曝露に関する基本的な規制に適合しているかどうかの評価
- DS / EN 300 440、v2.1.1 短距離デバイス (SRD)、1 GHz から 40 GHz の周波数範囲で使用される無線機器、(電磁両立性および無線スペクトルに関する事項ドラフト)
- DS / EN 301489-1、v2.2.0 無線設備及びサービスのための電磁両立性 (EMC) 規格、ドラフト (電磁適合性及び電波スペクトルに関する事項ドラフト)
- DS/EN301489-17, v3.2.0 電磁適合性 (EMC) および無線スペクトラムの問題
- AS / NZS 4268 無線機器およびシステム-短距離デバイス
- AS / NZS 2772.2 無線周波数フィールド (平均電力 1 mW 未満)

FlexStep (MODULE1) 内蔵受信機

2.4 GHz の短距離デバイス：

FCC ID : 2AK8H-MODULE1

受信機クラス 3

寸法 (長さ x 幅 x 高さ) : 72 x 33 x 10mm

重量 : 10 g

周波数 : 2.410 GHz 2.435 GHz および 2.460 GHz

動作サイクル : 1%未満 (TX はリモートペアリング時のみ)

電源 : 0.6mW 未満 (管理された環境下)

電源 : 5.6 ボルト 30 mA

水と埃 : IP XX (Liftup 製品の内部に設置すること)

周囲温度 : 5°C - +40°C/41°F - +104°F

保管温度 : -25°C - +70°C/13°F - 158°F

期待される耐用年数 : 5 年以上

ハンドヘルド無線リモコン (REMOTE1)

2.4 GHz の短距離デバイス：

FCC ID : 2AK8H-REMOTE1

受信機クラス 3

寸法 (長さ x 幅 x 高さ) : 96 x 47 x 24mm

重量 : 48 g

周波数 : 2.410 GHz 2.435 GHz および 2.460 GHz

動作サイクル : 1%未満

電源 : 0.6 mW 未満、制御された環境下、「デッドマン」動作時

バッテリー : 3V の CR2032

水と埃 : IP 42

周囲温度 : +5°C から +40°C

保管温度 : -25°C - +70°C

期待される耐用年数 : 5 年以上





壁掛け式ワイヤレスコールステーション (REMOTE2)

2.4GHZ の短距離デバイス :

FCC ID : 2AK8H-REMOTE2

受信機クラス 3

寸法 (長さ x 幅 x 高さ) : 170 x 72 x 42mm

重量 : 180 - 215 g

周波数 : 2.410 GHz 2.435 GHz および 2.460 GHz

動作サイクル : 1%未満

電源 : 0.6 mW 未満、制御された環境下、「デッドマン」動作時

バッテリー : 3V の CR2032

水と埃 : IP 54

周囲温度 : +5°C から +40°C

保管温度 : -25°C - +70°C

期待される耐用年数 : 5 年以上

技術的な変更が行われる場合があります。

特許製品



本製品は以下の特許が有効です。

- EP1254858
- EP1600416





6. 安全上の注意

6.1 設置、取り扱い、修理

FlexStep リフトの設置や修理はご自身で行わないでください。この作業は必ず認定サービス技術者が行ってください。人身事故の原因となりますので保護板や安全板を取り外さないでください。

リフトは通常、販売店が配送し、設置も行います。人身事故の原因となりますので、手でリフトを移動させないでください。本製品の移動や取り扱いには、適切な昇降装置（パレットリフト、ローラープレートなど）を使用してください。

リフトの機能を損なう恐れがあるため、強い衝撃や衝突を与えないでください。

6.2 予期しないリフトの動き

リフトの使用中に、本マニュアルに記載されていない動作や動きが発生した場合は、リフトを停止し、テクニカルサポートに連絡してください。

リフトがプラットフォームとして機能しない場合、プラットフォームを床面まで駆動して校正する必要があります。それでも問題が解決しない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

6.3 運転条件

リフトの下のスペースには、下降を妨げるような物がないようにしてください。そうしないと、最下段に移動することができず、車椅子用のリフトとして使用できません。リフトの下降を妨げる物体があると、挟み込み防止装置が作動します（セクション 6.7 参照）。

6.4 人身事故を避けるために

階段に人や物がある場合、**FlexStep** リフトを階段からプラットフォームへ、またはその逆へ切り替えないでください。

挟み込み、切断、落下、つまずきなど、人身事故の危険がある場合は、リフトを使用しないでください。

利用者/運転者は、人や物を危険にさらすことなくリフトを動かせることを確認することが重要です。

階段やプラットフォームの上や近くに小さな子供やお年寄り、体の不自由な方がいる場合は、特に注意してください。階段やプラットフォームの動きによって起こりうる結果を予測できない場合があります。

6.5 リフトの過負荷

過負荷による物的損害を防ぐため（最大 **400 kg** の均等負荷）、**FlexStep** には過負荷防止装置が装備されています。過負荷防止装置は、過負荷が発生するとリフトを停止し、音響アラームを作動させます（セクション 10.8 参照）。過負荷が発生した場合は、下降させて降りてください。



6.6 人体に関する安全性

Flexstep リフトには、リフト使用時に利用者や他の人が怪我をしないようにする様々な安全装置が装備されています。



警告！リフトには様々な安全装置が装備されていますが、周囲に人や動物がいる場合には危険性があるため、使用しないでください。子供をリフトで遊ばせないでください。

6.7 挟み込み防止装置

リフト全体の下には多数の圧力板（挟み込み防止装置）が取り付けられており、万が一、何かが挟まった場合に作動します。挟み込み防止装置が作動すると、リフトは停止し、約 2 cm 上方に移動し、アラーム音が鳴ります（セクション 10.8 参照）。



挟み込み防止装置が作動した場合は、操作ボタンを離してください。リフトの下にある物を取り除くことで、リフトは「リフトダウン」または「階段」の位置に戻ることができます（必要であれば、リフトの下にあるものを取り除きやすくするために、リフトを上向きに運転してください）。



重要！屋外に設置する場合、木の葉や枝、雪などが挟み込み防止装置に影響を与える可能性がありますので、リフトが下降中にブロックするものが無いことを定期的に確認してください。

6.7.1 赤外線による挟み込み防止機能

赤外線センサーはステッププレートの上に搭載されており、ステップ間のジャミングやスロープ下の挟み込みを防ぎます。



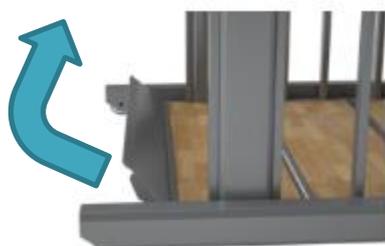
赤外線センサーがステップ間の挟み込みやスロープ下の潰れを防止

FlexStep が階段からプラットフォーム、またはその逆に変形する際に、赤外線センサーが遮断されると、動作が停止し、アラーム音が鳴ります（セクション 10.8 参照）。

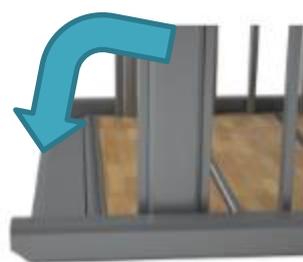
6.8 安全バリア

6.8.1 スロープによる出口保護

プラットフォーム上のスロープは、リフトが動き出す前に引き上げられ、ロックされます。このスロープは、転落防止装置として機能します。リフトが最下段まで下がると、スロープは自動的に傾き（ボタンを押したまま）、スロープとして機能します。



スロープによる出口保護



スロープをアップダウンスロープとして
使用

6.8.2 自動プラットホームバリア (オプション)

プラットホームバリアは、利用者がプラットホーム上にいる時、出入りに対して利用者を固定する安全装置です。アクティブスロープとの組み合わせにより、2つの機械的に作動する自動ロックブームは、リフトプラットホーム上の利用者の安全を最適化します。

リフトが最下段に止まっている時、ブームはリフトの側面に沿って垂れ下がり、出入りが可能となります。リフトが最下段から離れ、リフトが最下段から **50 mm** 以上になる前に、ブームはスイングアップしてロックされます。ブームは出口保護として機能します。リフトが最下段に戻るか、階段モードになると、ブームは自動的に側面に沿って傾き、出入りが可能となります。

当社は、**4、5、6** 段リフトに自動プラットホームバリアを装備することを推奨しています。



重要!



自動プラットホームバリアには、ブームが正しい水平のロック位置にあるかどうかを検知する統合スイッチがあります。リフトが最下段より **50 mm** 以上上方にある時点で、ブームが水平のロック位置にない場合、ブームが解放され、ロック位置まで自由に傾くことができるまでリフトは動きを止めます。

警告!

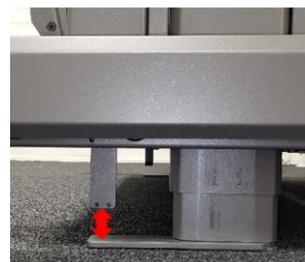


リフトをプラットホームから階段に変形させる際、手すりとプラットホームバリアの間に挟まれる危険性があることに注意してください。

警告!



リフトが水平から約 **100 mm** 未満の位置にあるとき、フットプレートとプレッシャーバーの間に挟まれる危険性があることに注意してください。





ブームの上に座らないでください。



ブームに寄りかからないでください。

6.8.3 垂直バリア (オプション)

リフトが最上段に垂直バリアが装備されている場合、リフトが動き出す前に垂直バリアは閉じます。リフトが最上段から離れているときは、バリアは常に閉じられています。



リフトが最上段から離れているときは、安全バリアは常に閉じられ、ロックされます。

6.8.4 自動ドア (オプション)

リフトに自動ドアが付いている場合、リフトが動き出す前にドアは閉じ、ドアモーターはロックされます。リフトが最上段から離れると、ドアは常に閉じてロックされます。



6.9 自由に出入りできるリフト (特定の国のみ)

一般の人が利用できるリフトの場合は、通常、リフトが使用されていない時にロックできるように、キースイッチを取り付ける必要があります。

人が意図せずリフトに閉じ込められることを防ぐため、リフトをロックすることが可能でなければなりません。キースイッチは、リフトが動くのを防ぎ、必要に応じてドアを閉じたりロックしたりできます。

リフトが監視またはロックされていなくても、所有者（またはその代理人）がリフト/建物の近くにいる場合に、助けを呼ぶためのアラーム信号装置が備え付けられていなければなりません。

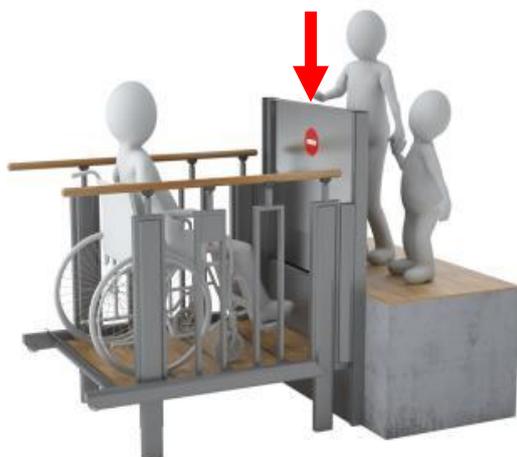
リフトにアラーム信号装置が装備されている場合、この信号は外部の警報装置（光、音など）に接続され、リフトで支援が必要なことを示すことができるようにしなければなりません。リフト設置されているアラーム信号装置が不十分な場合（例：監視なしで自由にアクセスできる）、双方向通信設備の設置が必要です。

リフトに双方向通信装置が設置されている場合、この装置は常に（リフトが利用可能な時に）応答可能な電話番号に接続されている必要があります。

6.10 故障/破損

6.10.1 緊急時に垂直バリアを開ける

緊急時、故障時の対応：バリアをゆっくり押してください。

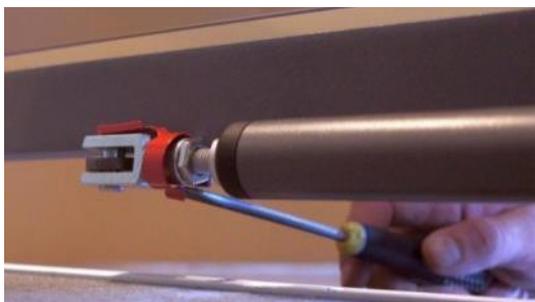


警告！

早く押しすぎると、バリアモーターが破損する恐れがあります。

6.10.2 緊急時のドアロック解除

緊急時、故障時の対応：スプリングボルトを外します。



1. 適当な工具（ドライバー、定規、栓抜きなど）を使って、スプリングをスピンドルシャフトから引き抜きます。



2. 外側から、下側にアプローチします。



3. スプリングを外します。



4. スプリングが抜けたらボルトを引き抜きます。



注：

ドアアクチュエーターに圧力がかかり、ボルトが抜けない場合があります。



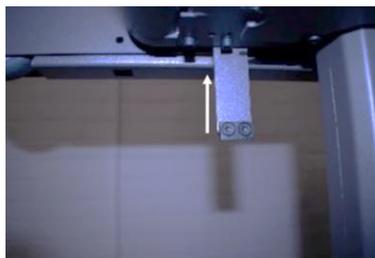
5. 扉は自由に開けることができます。

故障が解決したら、以下の手順を逆に辿ってドアに再接続することができます。

6.10.3 緊急時のプラットフォームバリアのロック解除

リフトの下にある圧力板を押し上げて、ブームが下がるようにします。必要に応じて、ブームをテープや紐などで固定し、退出時にブームが跳ね上がるのを防ぎます。

アームは一つずつ取り扱います。



警告：

怪我の危険。アーム/圧力板から手を放したり、適切に固定されなかったりすると、アームが所定の位置に固定されません。

6.10.4 非常用照明/停電



停電の場合、または何らかの理由でリフトコントロールへの電力供給が中断された場合、システムは自動的にバックアップモードに切り替わります。このとき、リフトの電源はバックアップ用バッテリーから供給されるため、システムは作動し続けます。操作パネルは点灯したままになります。音声アラームにより、「通常の操作状況」ではないことを利用者に知らせます。

6.10.5 電氣的または機械的エラー/欠陥

(特定の)機械的または電氣的欠陥が発生した場合、リフトは自動的に特別な「安全モード」に入り、低速で下方にのみ移動できるようになります。上方への移動はできません (セクション 11.2 参照)。

6.10.6 故障時の緊急避難

リフトが「安全モード」(低速で下降走行) で下降できない他の(重大な)故障の場合、サービス技術者のみが、利用者がアクセスできない特別な「サービスモード」を使ってリフトを作動させることができます。手動下降オプションはありませんが、リフト高が低い(最大 1200 mm) 場合、利用者を手動でリフトから降ろすことができます。利用者をリフトから降ろす必要がある場合(例えば車椅子利用者)、適切なリフト器具/補助具を使用して下さい。

上階の垂直バリア、あるいはドアは、リフトプラットフォームへのアクセスを提供する為に開ける事ができます(上記の説明を参照)。常時監視されていないリフト設備には、アラームを装備できます。



7. 機能説明

このリフトは、いわゆる「デッドマン」動作をするため、移動中は押しボタンを押し続けなければなりません。

リフトの操作は簡単です：利用者は、壁または操作コラムに設置されたプッシュボタン、または対応するリモコン（オプション）を使って、リフトを呼び出すことができます。利用者がプラットフォームに乗った後は、側面のパネルから操作を行い、上段または下段への移動を選択します。

8. 設置

リフトの設置は、認定サービス技術者が行います。FlexStep の移動や撤去、修理などは行わないでください。この作業は必ず認定サービス技術者が行ってください。

不適切な設置は利用者の安全リスクを高める可能性があります。組立および設置が認定サービス技術者によって行われなかった場合、Liftup はいかなる責任も負いません。

リフトの設置に関する詳細については、販売店にお問い合わせください。

<https://www.liftup.dk/en/contact>.

9. 使用開始方法

FlexStep は常に 100-240 V の電源に接続し、スイッチを入れておく必要があります。通常、FlexStep は常に「スタンバイモード」になっており、操作ボタンの 1 つを押すとすぐに使用できる状態になります。

緊急停止ボタンが押された場合、またはキースイッチでリフトが切断された場合、リフトが使用できるようになる前に、これを作動させなければなりません（詳細はセクション 10 参照）。

10. 操作方法

FlexStep は、階段としての機能と車椅子リフトとしての機能を併せ持つ、ユニークな 2 イン 1 アプリケーションです。FlexStep は、基本的には普通の階段ですが、操作ボタンを押すと、プラットホームに折り畳まれ、車いす用のリフトになります。



10.1 日常使用

FlexStep はプラットホームの操作パネル (図 12)、オプションのリモコン (図 9)、または上下階の操作パネルを使って操作できます: 標準コールステーション (図 1-4)、操作コラム (図 5-8) またはキー操作式コールステーション (図 10) オプションのキースイッチ (図 11) を使用して、リフトのオンオフを切り替えることもできます。



図 1 :
ケーブル付き標準コ
ールステーション、2
方向



図 2 :
ケーブル付き標準コ
ールステーション、3
方向



図 3 :
標準コールステーシ
ョン、ワイヤレス、2
方向



図 4 :
標準コールステーシ
ョン、ワイヤレス、3
方向



図5 :
操作コラム
ケーブル付き、2 方向



図6 :
操作コラム
ケーブル付き、3 方向



図7 :
操作コラム
ワイヤレス、2 方向



図8 :
操作コラム
ワイヤレス、3 方向



図9 :
リモコン (オプション)



図10 :
キーで操作するコー
ルステーション

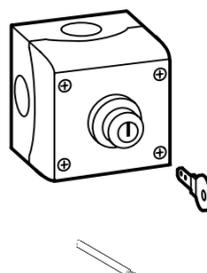


図11 :
キースイッチオン/オ
フ

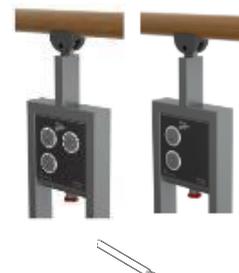


図12
リフト操作パネル
(オプション) /ア
ームなし

10.2 上段からの FlexStep 操作



操作パネルの矢印ボタン (▲) を押し続けることにより、リフトは最上段から作動します。

階段はプラットフォームに変形し、まず最下段に移動し、そこで転がり落ち防止 (スロープ (図 1) とプラットフォームバリア (図 2)) が持ち上げられ、ロックされます。

その後、プラットフォームは上方に移動し、最上段のバリア/ドアが開いてプラットフォームにアクセスできるようになります。慎重にプラットフォームに乗り、車椅子をロック/ブレーキしてください (図 3)。

矢印ボタン (▼) を押し続けると、プラットフォームが最下段まで下がります。プラットフォームが最下段に到達すると、転がり落ち防止装置が下降し、スロープは上り/下りスロープとして機能します (図 4)。慎重にプラットフォームから降ります (図 4)。

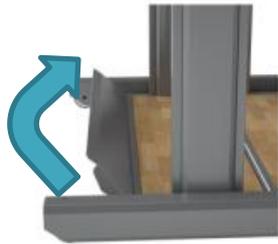


図1 :
スロープの上昇と
ロック

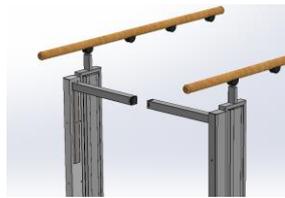


図2 :
オプションの自動
プラットフォームバ
リアを持ち上げて
ロックする



図3 :
プラットフォームに
乗り込む



図4 :
プラットフォーム
から降りる

10.3 下段からの FlexStep 操作

コントロールパネルの矢印ボタン (▼) を押し続けることにより、リフトは最下段レベルから作動します。



階段はプラットフォームに変形し、最下段位置に移動します。プラットフォームが最下段位置に達すると、転がり落ち防止/プラットフォームバリア (図5と6) が下がり、スロープが上下スロープとして機能します (図5)。慎重にプラットフォームに乗り、車椅子をロック/ブレーキしてください (図7)。

矢印ボタン (▲) を押し続けます。プラットフォームが上方に移動し、最上段のバリア/ドアが開き、上層階に出ることができます。慎重にプラットフォームから降ります (図8)。

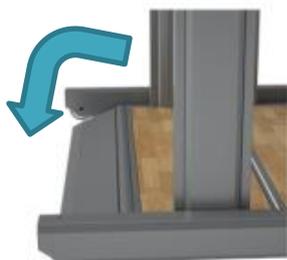


図5 :
スロープの下降

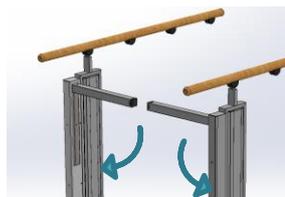


図6 :
自動プラットフォームバ
リア (オプション) 下降



図7 :
プラットフォームに
乗り込む



図8 :
プラットフォームか
ら降りる

10.4 プラットホーム上での FlexStep 操作



Flexstep を車椅子リフトとして操作するには、階段の手摺に取り付けた操作パネル、又はリモコン（オプション）を使用します。プラットホーム上のパネルは、**FlexStep** がプラットホーム状態にあるときのみ動作します。壁に取り付けたコントロールパネル/リモコン（オプション）を使用して、介助者はプラットホームの上下も操作できます。

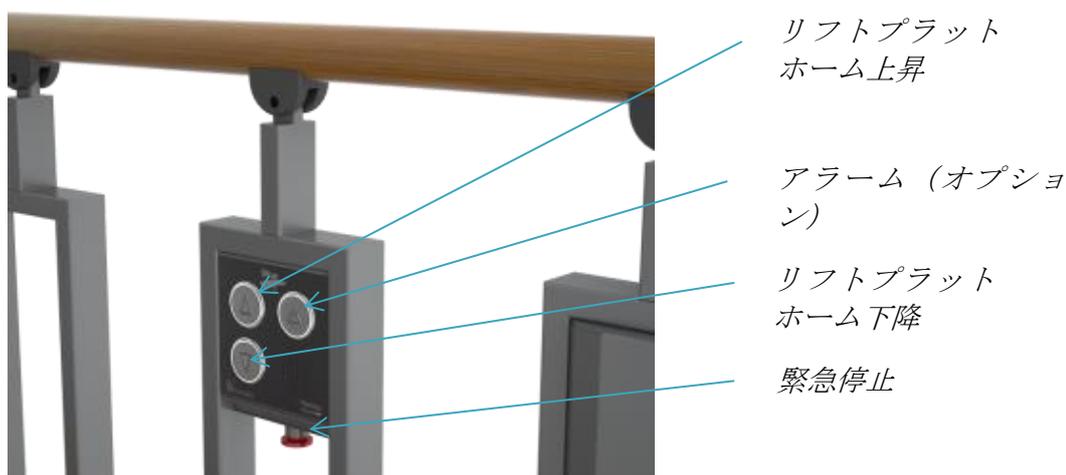
- プラットホームを上げるには、リフトが止まりドアやバリアが開くまで矢印ボタン（▲）を押し続けてください。
- プラットホームを下げるには、リフトが止まり、プラットホームバリアが下がり、出口スロープが下がり、上下スロープとして機能するまで、矢印ボタン（▼）を押し続けてください。

10.5 階段への復帰と自動復帰



階段マークのボタンを作動させると、**FlexStep** は変形して通常の階段として機能します。

コントロールボタンや IR センサーが約 **60** 秒間作動しなかった場合（デフォルトのプログラミング）、**FlexStep** は自動的に通常の階段の状態に戻ります。この間、音響アラームが鳴ります（セクション **10.8** 参照）。リフトを自動的に階段に戻したくない場合は、この機能をオフにすることができます。



Liftup は、上層部に安全対策がない場合は、必ず自動リターン機能をオフにすることを推奨しています。

10.6 緊急停止



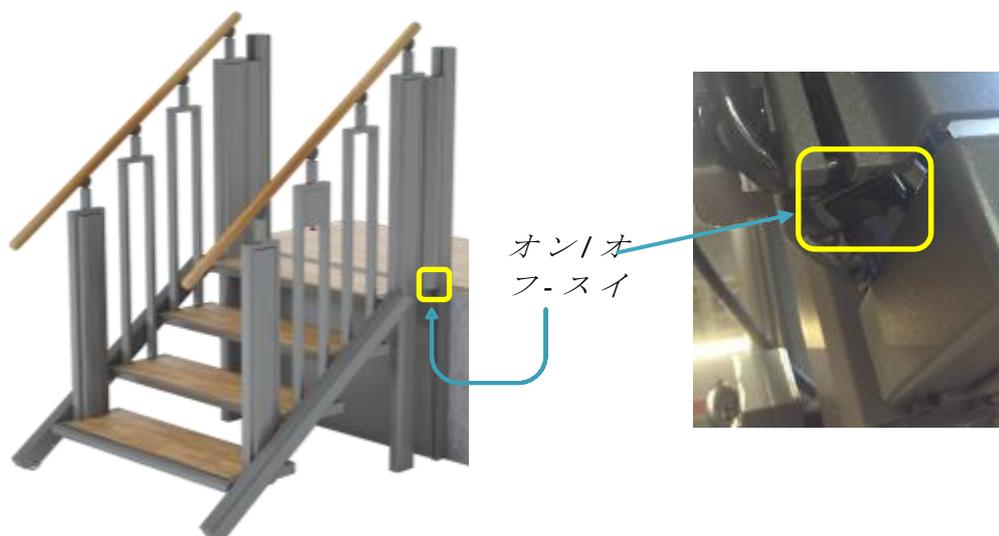
リフトが意図しない動きをした場合、または危険を避けるために停止させる必要がある場合、緊急停止ボタンを押してください。緊急停止を解除するには、ノブを時計回りに回すと、システムは再び使用可能な状態になります。



コントロールパネルでのアラーム機能の操作については、セクション 10.9 を参照してください。

10.7 オン/オフスイッチ

リフトにはオン/オフスイッチが付いています。コントロールボックスの右下に設置されています。オン/オフスイッチはリフトへの電源供給を停止するためのスイッチです。緊急停止と同時にこのスイッチが切れると、階段昇降機は完全に停止します。



オン/オフスイッチは、点検の際などに使用します。リフトの電源は、オン/オフスイッチと緊急停止（セクション 11.1 参照）を作動させることにより、オフ/オンされます。FlexStep の電源が再投入されると（緊急停止が解除されると）、制御が再開されます（「停電/緊急停止後のキャリブレーション」のセクション 11.2 参照）。バッテリーを消耗させないために、通常は常にオンになっています。



警告！ オン/オフスイッチはバッテリー充電用です。メインスイッチではありません。長時間オフのままにしておくと、電池の消耗や破損の原因になります。停電が長引く場合は、電池を消耗させないために、緊急停止を作動させる必要があります。



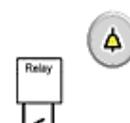
10.9 アラームと緊急コール



リフトには、援助を呼ぶための緊急ボタンを装備することができます。アラームを作動させるには、アラームボタンを約 5 秒間長押しします。

緊急ボタンはいくつかの方法で接続できます：

1. 緊急ボタンはリフト内のアラーム送信機に接続され、リフトで支援が必要であることを示すために甲高いビープ音を発します。



リレー出力のみ

2. 緊急ボタンはコールシステムに接続され、アナログ接続または SIM カードを使用して、利用者は外部の援助に連絡することができます。



アナログ接続
(セーフライン)



SIM カード
(セーフライン)

QR セーフライン

セーフラインインターカムシステムの操作と機能についての詳細はこちらをご覧ください：

SafeLine MX3 : <https://www.safeline-group.com/en/qg/mx3>



1. アラームボタン
2. マイクロフォン
3. 通信モジュールステータス LED



11. 操作方法

通常の使用条件下では、リフトは常に **100-240 V** のコンセントに接続して使用する必要があります。長時間の停電（**10～20 時間**）はバッテリーの放電を招き、ダウンタイムが発生する可能性があるため、電源を切断したり、スイッチをオフにしたりしないことが非常に重要です。その場合、バッテリーを充電するまでリフトを使用することができません。電源が遮断されると、音響アラームが鳴ります（セクション **10.8** 参照）。

11.1 バッテリーバックアップ

電源が遮断された場合、またはコントローラの電源が遮断された場合、システムは自動的にバックアップモードに切り替わります。このとき、リフトの電源はバッテリーから供給され、システムは動作し続けます。停電の警告として、音響アラームが鳴ります（セクション **10.8** 参照）。電源が再投入されると、アラームは止まります。これで通常運転に戻ります。電源がすぐに再投入できず、アラームを止めたい場合は、緊急停止ボタンを押します（システムの校正が必要となりますのでご注意ください。詳細は下記を参照してください）。



重要！電源が切断され、同時に緊急停止が作動した場合、システムは自動的に「セーフティモード」になります。この場合、システムを校正する必要があります（下記参照）。

11.2 緊急停止/停電後の校正

緊急停止が作動し、電源が遮断された場合、またはシステムが他の種類の異常を検出した場合、リフトを校正する必要があります。リフトは自動的に特別な「セーフティモード」になり、低速での下降しかできなくなります。



重要！リフトが期待通りに作動しない、あるいは数センチメートルの移動後に再び停止するようであれば、技術的な問題が発生している可能性があります。その場合、技術担当者による修理が必要です。ご不明な点は、販売店にお問い合わせください。



12. メンテナンス

クリーニングは、中性洗剤を混ぜた水を使い、よく絞った布でリフトを拭いてください。

重要！



ホースを使った高圧洗浄や直接のすすぎ洗いはしないでください。刺激の強い洗剤などをリフトに使用しないでください。また、冬季のメンテナンス時には、リフトに塩や砂が付着しないようにしてください。

オイルが塗られた木材は、長持ちさせるためにウッドオイルで定期的（約 3 ヶ月ごと）にメンテナンスしてください。ラッカー塗装の木部は、必要に応じてニス塗り直ししてください。

リモコン（オプション）は、乾燥した場所に保管し、激しい衝撃を与えないようにしてください。クリーニングは固く絞った布でのみ行ってください。

リフトの下に落ち葉や枝、その他の物体がないか定期的に確認し、自由な動きを確保するためにそれらを取り除いてください。

12.1 コールステーション/リモコンの電池交換

ワイヤレスコールステーション、コントロールコラム、オプションのリモコンには、CR2032 電池が 1 個装着されています。



安定した動作のために、電池は 2 年ごとに交換してください。



ボタン形電池を飲み込まないように注意してください。電池を口に入れないようにしてください。



電池は小さなお子様の手の届かないところに置いてください。子供が電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に連絡してください。



電池を家庭ごみとして廃棄しないでください。廃棄の際は、地域の規制や条例に従ってください。

電池の交換方法

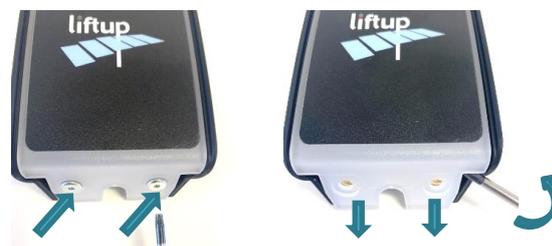
ハンドヘルドリモコン：

1. リモコン背面のネジ（Torx TX 6）を緩めます。
2. リアパネルを取り外します。
3. 電池を交換します。
4. 背面パネルを取り付け、リモコンをテストします。



コールステーション：

電池を交換するには、2 個のトルクスネジを緩め、上部カバーを引き下げて、相手側と分離します。



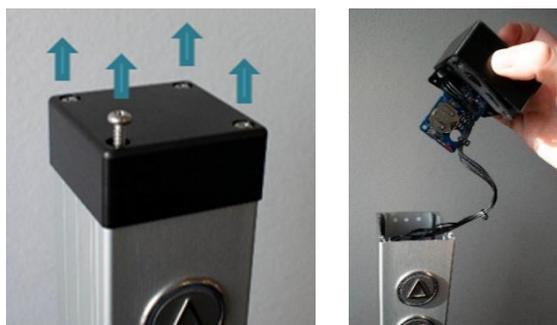
操作コラム

電池を交換するには、4 本のネジを緩め、上部蓋を注意深く引き上げます。



重要！

配線を切り離さないように注意してください。基板を上部蓋から慎重に引き抜きます。



1. 電池を交換します。
2. すべてを逆の順序で組み立て直し、ボタンをテストします。



長期間リモコンや受信機の電源が入っていない場合は、システムのキャリブレーション（2つのユニットのペアリング）が必要になることがあります、セクション 13 を参照してください。

13. 送信機と受信機のペアリング

13.1 ワイヤレスコールステーション/操作コラム 2.4 GHz

送信機と受信機は常にペアリングされていないと動作しません。この作業は通常、工場または認定サービス技術者が行います。受信機は、ペアリングされていない送信機には反応しません。1 台の受信機は最大 20 台の送信機とペアリングすることができます。

送信機は、必要に応じて複数の受信機とペアリングすることができます。

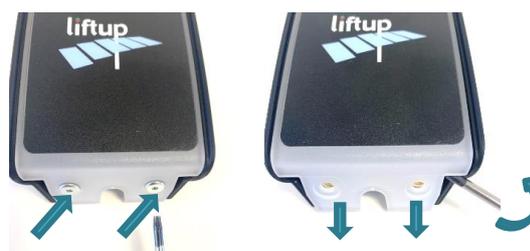
送信機と受信機のペアリング方法：

1. 2.4 GHz 受信機の S4 にアクセスするには、上部のネジを緩め、MODULE1 を壁端末の上部から引き上げます。
2. 受信機の S4 を軽く押すとインジケータランプ（LED）がゆっくりと点滅します。受信機は 2 分間の設置モードに入ります。
3. 送信機にアクセスします。



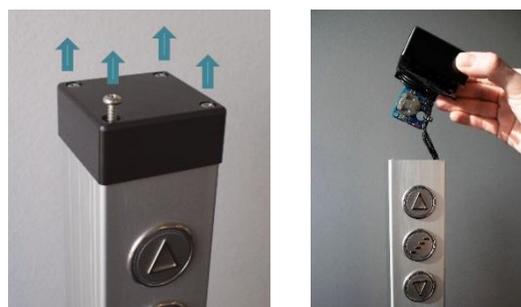
コールステーション

送信機の基板にアクセスするには、2 つのトルクスネジを緩め、上部カバーを引き下げて相手側から分離します。



操作コラム

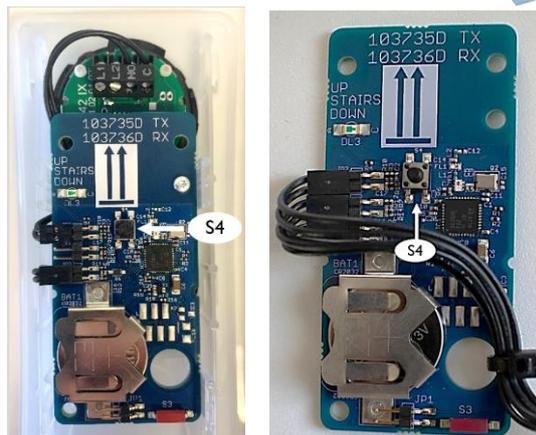
送信機の基板にアクセスするには、上部のネジ 4 本を緩め、上部カバーを注意深く引き上げます。基板を上部蓋から慎重に引き抜きます。



重要！

配線を切り離さないように注意してください。基板を上部蓋から慎重に引き抜きます。

4. 送信機の基板にある S4 を短く押して受信機とペアリングします（2 分以内に行う必要があります）。

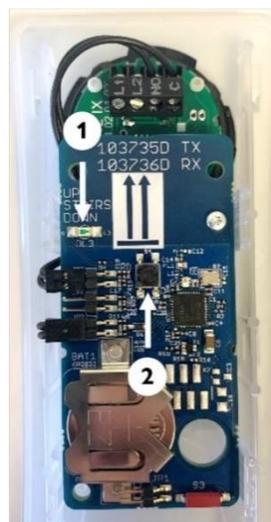


5. システムをテストして、ペアリングが正しく行われていることを確認してください。できていない場合は、上記の手順 1 - 4 を繰り返します。
6. 複数のリモコンと受信機をペアリングする場合は、上記の手順 2 を繰り返します
7. 上部カバー/上部蓋を再装着します

コールステーション/操作コラムをリセットし、リフトとのペアリングを解除するには、以下のステップに従ってください：

送信機をリセットする場合：

1. 送信機の S4 (2) を 10 秒以上押します。
2. インジケータランプ (1) が急速に点滅し始め、送信機はリセットされます。



受信機をリセットする場合：

1. 受信機の S4 (2) を 10 秒以上押します。
2. インジケータランプが高速で点滅を開始し、受信機がリセットされます。



13.2 リモコン 2.4 GHz

送信機と受信機は常にペアリングされていないと動作しません。この作業は通常、工場または認定サービス技術者が行います。受信機がペアリングされていないと、送信機には反応しません。1 台の受信機は最大 20 台の送信機とペアリングすることができます。1 台の送信機は、必要に応じて複数の受信機とペアリングすることができます。

送信機と受信機をペアリングする場合：

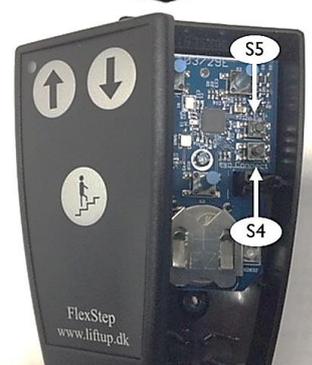
1. 2.4 GHz 受信機の S4 にアクセスするには、上部のネジを緩めて、MODULE1 を壁プロファイルの上部から引き上げます。
2. 受信機の S4 を短く押すと、インジケータランプがゆっくりと点滅し始めます。受信機は 2 分間の設置モードに入ります。
3. リモコンの「上矢印」(↑) と「下矢印」(↓) ボタンを同時に押して、リモコンのインジケータランプがゆっくり点滅し始めるまで、約 5 秒間押し続けます。リモコンは 2 分間の設置モードに入ります。黄色に点滅します。赤い点滅の場合は、受信機に適合しない 868MHz モデルです。



他の方法：

リモコンが開いている場合は接続 (S4) ボタンを押します。

4. リモコンのインジケータランプの点滅が止まれば、リフトとのペアリングが完了します。
5. システムをテストして、ペアリングが正しく行われていることを確認します。正しく行われていない場合は、上記の手順 1 - 4 を繰り返します。
6. 複数のリモコンをペアリングする必要がある場合は、上記のステップ 2 から繰り返します。



リモコンをリセットしてペアリングを解除するには、以下の手順で行います：

送信機をリセットする場合：

1. 上矢印（↑）キーと下矢印（↓）キーを同時に約 5 秒間押して、リモコンのインジケータランプがゆっくりと点滅することを確認します。
2. リモコンは 2 分間の設置モードに入ります。この 2 分間の間に、以下のシーケンスを実行する必要があります：

次のように押します：上矢印（↑）、上矢印（↑）、下矢印（↓）、下矢印（↓）、上矢印（↑）、下矢印（↓）、上矢印（↑）、下矢印（↓）

シーケンスが正しく行われると、インジケータランプ（LED）が素早く 10 回点滅します。

他の方法：

リモコンが開いている場合は、リセット（S5）を押してください。



システムをテストして、リセットが正しく完了し、リモコンのペアリングが解除されたことを確認します。解除されていない場合は、上記のステップ 1 - 3 を繰り返します。

受信機をリセットする場合：

1. 受信機の S4 を 10 秒以上押します。
2. インジケータランプが高速で 10 回点滅し始め、受信機がリセットされます。





14. 設置と引き渡し

リフトの操作と安全機能を確認する以下の設置および引き渡しのチェックリストは、設置を確定する前に、リフトの利用者/所有者と確認する必要があります。



Installation and handover – FlexStep V2

The form below shall be filled out upon installation.

Customer:	Product:
Address:	Product Type No.:
Postcode:	Serial No.:
Telephone No.:	Installation date:
Client acceptance of installation:	Installed by:

Checklist:

No	Description	Checked	Any comments
1	Perform test together with client	<input type="checkbox"/>	
2	Check all call stations	<input type="checkbox"/>	
3	Check all safety components	<input type="checkbox"/>	
3.1	Pressure plates (anti-crush)	<input type="checkbox"/>	
3.2	IR stairs and platform	<input type="checkbox"/>	
3.3	Safety top level (Vertical safety barrier or door)	<input type="checkbox"/>	
3.4	Safety lower level (Ramp and platform barrier, if any)	<input type="checkbox"/>	
4	Explain emergency button (release procedure)	<input type="checkbox"/>	
5	Explain auto-return function	<input type="checkbox"/>	
6	Explain audible alarms	<input type="checkbox"/>	
7	Explain mains ON/OFF function and battery role	<input type="checkbox"/>	
8	Explain outdoor treatment: (no salt, no high-pressure water)	<input type="checkbox"/>	
9	Explain importance of maintenance contract	<input type="checkbox"/>	
10	Overload	<input type="checkbox"/>	
11	Perusal of user manual	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	

Doc. Version 10.08.2023

Liftup A/S | Hagensvej 21 | DK-9530 Støvring | Denmark | T: +45 96 86 30 20 | M: support@liftup.dk | www.liftup.dk





15. 点検、制御、サービスチェック

セクション 12 に記載されている一般的なメンテナンスに加えて、定期的なサービスチェックとリフトの法定点検と検査を実施しなければなりません。



重要！

点検を行わなかったり、間違った点検を行ったりすることは、人身事故につながる可能性があるため、これらの点検を正しく行うことは安全上の理由から非常に重要です。

15.1 法定点検と検査

また、リフトは人の輸送を目的として認可されているため、法定の定期検査を実施する必要があります。順守を保証するのは所有者の責任であり義務です。



重要！

法定点検の回数は、当該国の法律により異なります。

15.2 定期点検

製造元として、当社は以下に記載された間隔でリフトの定期点検を実施することを要求します。



重要！

最低限のサービスチェックが行われない場合、苦情を申し立てる権利が失効する可能性があります。

当社が推奨する 1 年間の保守点検回数：

	屋内	野外
家庭/非公開	1	2
公共	2	4

製造元として、当社は認定サービス技術者による定期的なサービス点検の実施をお勧めします。製品を購入された販売店がこのサービスを提供していますが、他のサービス業者を利用する場合は、リフトの所有者の責任において、選択したサービス技術者とその製品のトレーニングを受けていることを確認してください。

次を参照してください：<https://www.liftup.dk/en/contact>。



重要！リフトの整備を行う前には、必ず緊急停止ボタンを押してください。これは不用意な運転を防止するためです。サービスを開始する前に、緊急停止が押されていることを確認するのは、サービス技術者の責任です。

注：システムはバッテリーバックアップ機能を備えているため、電源を切断するだけでは十分ではありません。



15.4 整備記録簿

このフォーム（以下の例）は、検査のたびに記入する必要があります。



Service logbook

This form shall be filled in after every inspection. The logbook shall be kept together with the lift.

Client:	Product:
Address:	Product Type No.:
Postcode:	Serial No.:
Telephone No.:	Installation date:
Contact Person:	Telephone No.:

No.	Date:	Comments:	Signature:
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

Doc version 2023.01.04

Liftup A/S | Hagensvej 21 | DK-9530 Støvring | Denmark | T: +45 96 86 30 20 | M: support@liftup.dk | www.liftup.dk





16. オンライン整備記録（一部の国のみ）

スマートフォンやタブレットなどで、QR コードを読み取ることができます。QR コードは、左パネルの前面に記載されています。



このセクション 3 には、この特定のリフトのシリアル番号が記載された CE ステッカーと、リフトのオンライン整備記録簿に直接アクセスできる QR コードが挿入されています。QR コードをスキャンすると、リフトのオンライン整備記録簿に直接アクセスでき、新しいログが作成されます。各項目は記入され、サービス技術者/設置者/管理者は各訪問の後、電子的に記録を承認します。

liftup Equipment Service Log

Equipment details

Serial no. F519-00010

Production year 2019

Equipment type 103141 Flexstep V2

Links to more information

[Link til produktvideo](#)

Equipment log

These are the recorded service log entries for the equipment.

Log no. #	Log entry date	Created by	Log entry text	Comments	Signature
1	15/01/2019	PB	Installation/opstilling af lift	Liften er installeret. Intet øvrigt at bemærke ifm. installationen.	PB
2	16/01/2019	Peter Pedersen	Opstillingskontrol	Liften er opstillingskontrolleret (ik. bekendtgørelse, uden bemærkninger). Lifte må herefter tages i anvendelse	PP
3	13/02/2020	Hans Jensen	Årlig eftersyn	Årlig eftersyn gennemført (ik. serviceeftale med Liftup A/S). Intet øvrigt at bemærke.	HJ

[Add log entry](#)

1. Her kan du se udstyrsdetaljer såsom: serienummer, produktionsår med mere.

2. Klik på linket for at se en video om produktet.

3. Dette er selve "log-bogen" for udstyret. Denne skal udfyldes af serviceteknikeren ved hvert service besøg.

4. Loggen skal udfyldes med dato, navn, et stigende log entry tal og relevante kommentarer. Til slut underskrives loggen elektronisk.





17. スペアパーツとアクセサリ



重要！常にオリジナルのスペアパーツを使用することが重要です。交換作業は、必ず認定サービス技術者が行ってください。純正品以外のスペアパーツを使用すると、工場保証が無効になる場合があります。また、製品の安全性が損なわれ、人身事故につながる恐れがあります。

スペアパーツとサービスの詳細については、弊社販売店までお問い合わせください。

<https://www.liftup.dk/en/contact>

Art. No.	Description
103332	Spare part package - FlexStep V2
100338	Micro Switch - Safety system - V4L IP67
100339	Emergency Stop Button
100413	Spring for ramp lock
101139	Timing belt
103482	Control Board for FlexStep V2
103738	Print for connection board FSV2/ELV3 2.4 GHz
102726	Print for connection board FSV2/ELV3 868 MHz
102744	Motor for barrier, FS2
102759	POM guide for stairs/wall profile
102766	Brush for wall profile
102768	Spring for safety barrier contact
102769	Print for safety barrier contact
102890	Battery 12V 5Ah LiFePo4 FlexStep V2
103008	IR Safety RX board - FlexStep V2
103009	IR Safety TX board - FlexStep V2
103011	IR Termination board - FlexStep V2
103033	Plastic washer for steps, FS2
103080	Power supply unit 36 V (EU)
104198	Power supply unit 36 V (US)
103090	Circlip for steps, FS2
103091	E-chain for FS2
103092	Mounting bracket for E-chain
100336	Motor for ramp FS2
103108	Complete spindle unit with motor
103289	Push button, FS2, arrow, outdoor
103290	Push button, FS2, bell, outdoor
103333	Programming Cable FS2



18. 取り外し

リフトを適切に取り外して別の機器に再利用するためには、認定サービス技術者に依頼することをお勧めします。取り外しについては、販売店にご相談ください。

Flexstep を建物から離す際に不意に転倒/傾斜する危険性があることにご注意ください。

19. 廃棄について

本製品を廃棄する際は、その時点で適用されている規則に従って廃棄することが所有者の義務となります。特に、制御装置とリモコンには電池が装着されていますので、電池を分別して廃棄する必要があることにご留意ください。



重要！

バッテリー/電池をゴミ箱に捨てないでください。バッテリー/電池を廃棄する際には、地域の規則や規制を遵守する必要があります。

必要に応じて、販売店に連絡して廃棄の手続きをしてください。

19.1 Flexstep の材質仕様

材質	以下の部品/パーツに含まれます ¹⁾
スチール (S 235 JR)	フレーム、ステップ、キャッチャー ²⁾ 、手すり、
アルミニウム (Al-Mg G3)	スロープ、カバープレート、圧力板、キャッチャー ²⁾ 、階段踏面インサート
真鍮 (Cu Zn 39 Pb 3)	ブッシュ、ガスケット、手すり
プラスチック ポリオキシメチレン (POM)	手すりブッシュ、スライドレール、ブッシング、ガスケット
木材 (オーク、ブナ、マホガニーなど)	階段踏面インサート、手すり
電子機器	制御/PCB、リフティングコラム
銅	ケーブル類

¹⁾ コールステーション、操作コラム、その他の外部コンポーネントは含まれません。

²⁾ モデルにより、キャッチャーはスチール製かアルミ製です。

20. 苦情

苦情を申し立てる権利は、その時々有効な苦情の権利に関する規則が適用されるものとします。

Liftup は、製品が当社 (<http://lpr.liftup.dk/>) に登録されている場合に限り、2年間のスペアパーツの完全保証を提供します：



Product Registration

Register your product today and receive 2-years liability for defect on your product directly from Liftup.

Product ID - Serial no. [?](#)

Type of registrant

First name

Last name

Organization

Address

City

Region / State

Zip Code

Phone

Email

Language

Copy of receipt Der er ingen fil valgt

If you want to stay updated regarding the latest news and updates, please fill in the check box.

[Register](#)

By registering your information, you agree that Liftup may keep your information in the 2-year period of Liability for defects and contact you upon updated user guides and product safety. When the period of Liability for defects has expired, we will contact you again to ask if we may retain your information. Otherwise they will be deleted. Additionally, this information is used for internal statistics, but is not disclosed to third parties. You can revoke your consent at any time.

For any questions regarding registration or liability for defects please contact mail@liftup.dk.



詳細については、当社ウェブサイト <https://www.liftup.dk/en/general-conditions> に掲載されている販売および配送に関する規約をご参照ください。



注：
 所定のサービスチェックが行われない場合、苦情を申し立てる権利が失効する可能性があります。

セクション 15 を参照の上、所定の点検、チェック、サービスチェックに従わない場合、製品の安全性に重大な影響を及ぼす可能性があります。所定の点検間隔を守らない場合、製品の安全性に重大な影響を及ぼす可能性があります。2016 年 5 月 23 日の AT 命令 461、附属書 2 および 3、AT 命令 1109 条 14 項に従い、製品が所定のサービス点検を定期的実施することは、お客様の責任です。

新しい FlexStep をご活用ください。

敬具

Liftup A/S



lifting people

"Aesthetics, design and safety are essential in everything we do. We are developing dignified aids, not machines."

LIFTUP A/S
Hagensvej 21
DK-9530 Støvring
Denmark

+45 9686 3020
support@liftup.dk
www.liftup.dk

